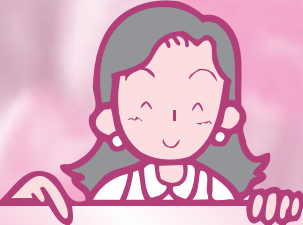


ここが聞きたい 市政をただす

一般質問



もっと詳しく!!

もっと詳しく施政方針、教育問題、農業問題... etc聞かせてちょうだい。

3月9日、10日、14日の本会議では、延べ23人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。

「コハクチヨウ越冬地加西」の定着

Q コハクチヨウ越冬地加西について、どう認識し評価しているか。定着に向けての条件は何か。環境保護、自然との共生ととらえるのか、観光資源と考えるのか。

白鳥愛護会から提案される飛来池での釣り禁止を、条例化を含めて積極的に支援してはどうか。

A コハクチヨウの飛来が増えたのは、カメラ愛好家を中心とする白鳥愛護会が始められた餌づけが一つの要因。基本的に餌づけという行為は好ましくないが、多くのコハクチヨウの飛来は加西市の自然環境の家徴であり、白鳥愛護会と連携し、定着できるよい自然環境づくりをと考えます。そのためには、市民の意識の高揚が不可欠で、啓発に努めます。次に、池の管理者の理解を得て、生息に必要な水草を植え、生息しやすい水位の維持管理と自然の餌場の提供が大切です。定着に向け、関係者と連携、協議

していきます。京阪神からも多くの方が見に来られるので、観光資源としての活用へ向け、観光協会等と協議を進める必要もあります。

加西市民の美しい環境を守る条例で野生生物保護地区への指定は可能です。冬場の池干しもあり、水をためておくには地元との協議も必要で、堤防の浸食も懸念されます。現在、長倉池には貴重植物、ミズトランオも自生し、地区関係者のご意見、今後の飛来の状況等々を見きわめながら判断していきます。

新聞広告

Q 市長の施政方針に定期的な大型新聞の広告掲載がある。現在の市広報とホームページで足りないのはどこか。広告費を払ってイベント情報を載せるよりも、新聞記事として取り上げてもらう方が、読者の関心を引き、また経費もかからない。どのような必然性で、ごこの新聞にどのような内容を掲載するのか。

A 広報紙の限られたスペースでは、掲載依

頼があった情報全てを掲載できず、一方ホームページは、広範囲に不特定多数の方に情報発信できますが、高齢者の利用率が低い難点もあります。市外からも参加いただきたいイベントがたくさんあります。また、急な事業や、発行日直後の事業への対応が難しい。

広報発行から次の発行までの中間地点に、新聞広告でイベント情報を掲載することで、タイムリーな情報提供ができ、より広いエリアに情報提供が行なえます。

新聞記事の効果の方が大きいとの指摘ですが、紙面の都合により、掲載されないものがあります。加西市として必要なときに情報提供すべき話題を掲載すれば、記事以上に効果があると考え、市内の購読部数と広告料等を考慮し、市内の大部分を占める最も購読部数の多い新聞への掲載を予定しています。

鵜野滑走路跡地の総合的な利活用

Q 飛行場はここ数年ほとんど使用されていない